ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）

株式αコース
通貨αコース
株式＆通貨ツインαコース

運用報告書（全体版）

第108期（決算日 2022年２月17日）
第109期（決算日 2022年３月17日）
第110期（決算日 2022年４月18日）
第111期（決算日 2022年５月17日）
第112期（決算日 2022年６月17日）
第113期（決算日 2022年７月19日）

（作成対象期間　2022年１月18日～2022年７月19日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、予想配当利回りの高いオーストラリア株式へ投資するとともに、オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2013年１月23日～2023年１月17日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	株式αコース	イ．ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）」の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ．ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）」の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	株式＆通貨ツインαコース	イ．ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）」の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

◇SUZ0574720220719◇

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
ＴＥＬ　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
https://www.daiwa-am.co.jp/

<5747>
<5748>
<5749>

株式αコース

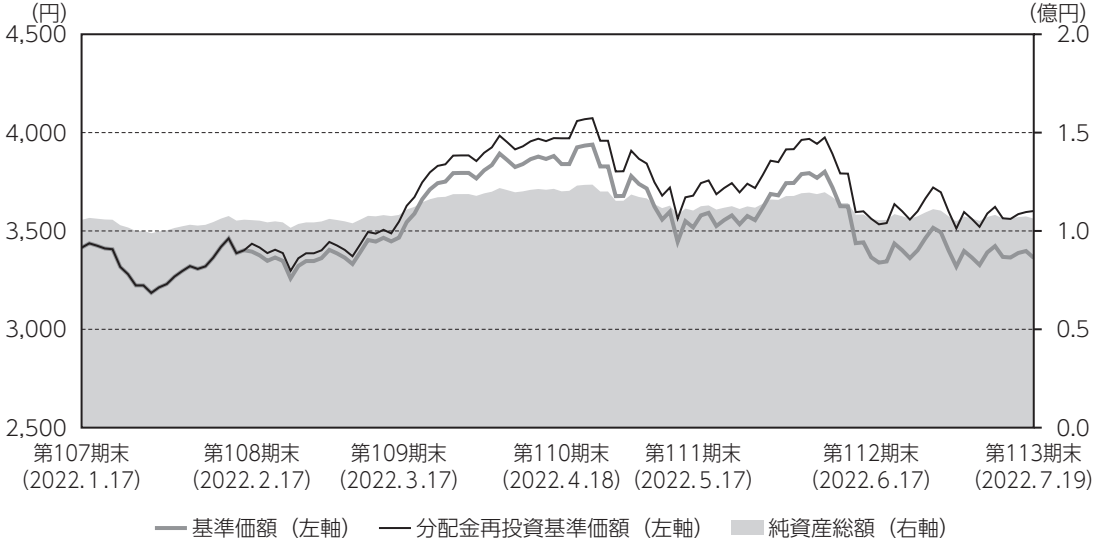
最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P／ASX200指数（円換算）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
84 期末(2020年 2 月17日)	4,095	40	△ 3.5	11,749	△ 1.9	−	99.0	186
85 期末(2020年 3 月17日)	2,570	40	△36.3	7,275	△38.1	−	98.2	116
86 期末(2020年 4 月17日)	2,698	40	6.5	8,319	14.4	−	98.0	122
87 期末(2020年 5 月18日)	2,703	40	1.7	8,320	0.0	−	98.4	123
88 期末(2020年 6 月17日)	3,079	40	15.4	9,807	17.9	−	97.7	142
89 期末(2020年 7 月17日)	3,163	40	4.0	10,060	2.6	−	98.3	144
90 期末(2020年 8 月17日)	3,233	40	3.5	10,483	4.2	−	98.7	147
91 期末(2020年 9 月17日)	3,177	40	△ 0.5	10,171	△ 3.0	−	99.2	138
92 期末(2020年10月19日)	3,125	40	△ 0.4	10,327	1.5	−	97.8	135
93 期末(2020年11月17日)	3,246	40	5.2	11,084	7.3	−	98.3	140
94 期末(2020年12月17日)	3,358	40	4.7	11,695	5.5	−	99.5	139
95 期末(2021年 1 月18日)	3,434	40	3.5	11,985	2.5	−	98.3	143
96 期末(2021年 2 月17日)	3,557	40	4.7	12,699	6.0	−	98.0	141
97 期末(2021年 3 月17日)	3,616	40	2.8	12,879	1.4	−	99.2	143
98 期末(2021年 4 月19日)	3,682	40	2.9	13,236	2.8	−	98.2	146
99 期末(2021年 5 月17日)	3,697	40	1.5	13,318	0.6	−	98.2	145
100期末(2021年 6 月17日)	3,735	40	2.1	13,918	4.5	−	98.3	146
101期末(2021年 7 月19日)	3,604	40	△ 2.4	13,302	△ 4.4	−	98.4	140
102期末(2021年 8 月17日)	3,567	40	0.1	13,558	1.9	−	97.7	119
103期末(2021年 9 月17日)	3,444	40	△ 2.3	13,343	△ 1.6	−	98.0	107
104期末(2021年10月18日)	3,546	40	4.1	13,929	4.4	−	98.1	109
105期末(2021年11月17日)	3,491	40	△ 0.4	13,875	△ 0.4	−	99.1	109
106期末(2021年12月17日)	3,403	40	△ 1.4	13,322	△ 4.0	−	98.9	104
107期末(2022年 1 月17日)	3,415	40	1.5	13,624	2.3	−	97.9	105
108期末(2022年 2 月17日)	3,395	40	0.6	13,527	△ 0.7	−	97.8	105
109期末(2022年 3 月17日)	3,466	40	3.3	13,956	3.2	−	97.8	108
110期末(2022年 4 月18日)	3,840	40	11.9	15,727	12.7	−	99.7	120
111期末(2022年 5 月17日)	3,518	40	△ 7.3	14,303	△ 9.1	−	98.9	110
112期末(2022年 6 月17日)	3,366	40	△ 3.2	13,772	△ 3.7	−	97.8	106
113期末(2022年 7 月19日)	3,363	40	1.1	14,070	2.2	−	97.9	106

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）Ｓ＆Ｐ／ＡＳＸ200指数（円換算）は、Ｓ＆Ｐ／ＡＳＸ200指数（豪ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。Ｓ＆Ｐ／ＡＳＸ200指数（豪ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注５）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注６）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第108期首：3,415円
第113期末：3,363円（既払分配金240円）
騰　落　率：5.5%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

主にオーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）に投資した結果、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）については、オーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が下落したことはマイナス要因でしたが、豪ドルが対円で上昇（円安）したことがプラスに働き、上昇しました。株式オプション取引については、プラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）　株式αコース

	年　月　日	基準価額		S&P／ASX200指数（円換算）		公社債組入比率	投資信託証券組入比率
			騰落率	（参考指数）	騰落率		
		円	%		%	%	%
第108期	(期首)2022年1月17日	3,415	－	13,624	－	－	97.9
	1月末	3,213	△ 5.9	12,616	△ 7.4	－	97.4
	(期末)2022年2月17日	3,435	0.6	13,527	△ 0.7	－	97.8
第109期	(期首)2022年2月17日	3,395	－	13,527	－	－	97.8
	2月末	3,322	△ 2.2	12,972	△ 4.1	－	97.4
	(期末)2022年3月17日	3,506	3.3	13,956	3.2	－	97.8
第110期	(期首)2022年3月17日	3,466	－	13,956	－	－	97.8
	3月末	3,795	9.5	15,450	10.7	－	98.6
	(期末)2022年4月18日	3,880	11.9	15,727	12.7	－	99.7
第111期	(期首)2022年4月18日	3,840	－	15,727	－	－	99.7
	4月末	3,678	△ 4.2	14,880	△ 5.4	－	99.5
	(期末)2022年5月17日	3,558	△ 7.3	14,303	△ 9.1	－	98.9
第112期	(期首)2022年5月17日	3,518	－	14,303	－	－	98.9
	5月末	3,688	4.8	14,973	4.7	－	98.7
	(期末)2022年6月17日	3,406	△ 3.2	13,772	△ 3.7	－	97.8
第113期	(期首)2022年6月17日	3,366	－	13,772	－	－	97.8
	6月末	3,493	3.8	14,060	2.1	－	98.6
	(期末)2022年7月19日	3,403	1.1	14,070	2.2	－	97.9

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について　(2022.1.18～2022.7.19)

■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は下落しました。

オーストラリア株式市況は、当作成期首から2022年３月上旬にかけて、主要国で金融政策の正常化観測が広まったことや、ロシアのウクライナ侵攻を受けてリスク回避の動きが強まったことで、下落しました。４月末にかけては、米国での利上げを受けて金融政策運営に対する不透明感が後退したことや、サプライチェーン（供給網）の混乱を背景とした商品価格の上昇が好感され、堅調に推移しました。当作成期末にかけては、世界的なインフレ加速から利上げペースの加速見通しが広まる中、世界経済の減速懸念が意識されたことで、オーストラリア株式市況は下落しました。

■為替相場

豪ドルは対円で上昇しました。

当作成期首から2021年４月末にかけて、ウクライナ侵攻を理由にロシアに対して経済制裁が科される中、資源分野におけるサプライチェーン（供給網）の混乱を受けて商品価格が急騰したことで、資源国通貨である豪ドルは対円で上昇しました。当作成期末にかけては、主要貿易相手国である中国の景気減速懸念から一時下落する場面も見られましたが、ＲＢＡ（オーストラリア準備銀行）が利上げを実施する中、日銀は金融緩和の据え置きを決定したことで、両国間の金融政策の方向性の違いから豪ドル円は堅調に推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態で、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて　(2022.1.18～2022.7.19)

■当ファンド

オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

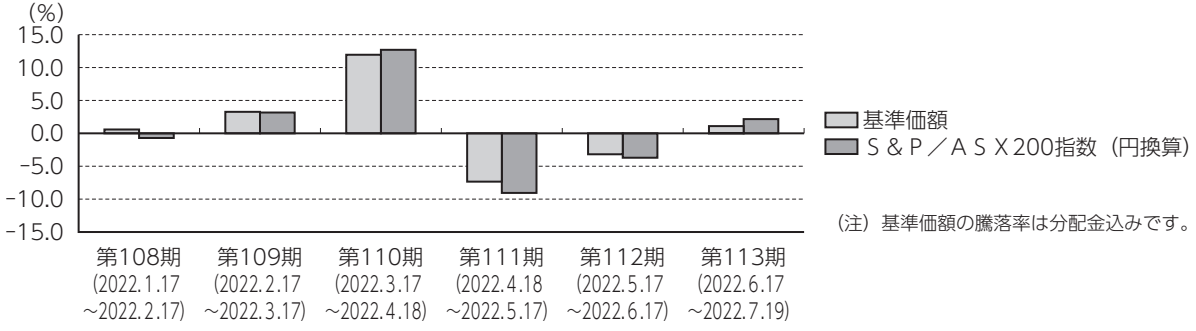
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しています。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
	2022年1月18日～2022年2月17日	2022年2月18日～2022年3月17日	2022年3月18日～2022年4月18日	2022年4月19日～2022年5月17日	2022年5月18日～2022年6月17日	2022年6月18日～2022年7月19日
当期分配金（税込み）（円）	**40**	**40**	**40**	**40**	**40**	**40**
対基準価額比率 (%)	1.16	1.14	1.03	1.12	1.17	1.18
当期の収益 (円)	33	37	40	39	38	35
当期の収益以外 (円)	6	2	—	0	1	4
翌期繰越分配対象額 (円)	392	389	392	391	390	385

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項目	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 33.63円	✓ 37.20円	✓ 42.86円	✓ 39.10円	✓ 38.85円	✓ 35.18円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 398.63	✓ 392.28	389.49	389.51	389.56	✓ 389.57
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	✓ 2.85	✓ 1.95	✓ 0.80
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)	432.26	429.48	432.35	431.47	430.37	425.57
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)	392.26	389.48	392.35	391.47	390.37	385.57

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態で、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを創出できる強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

１万口当りの費用の明細

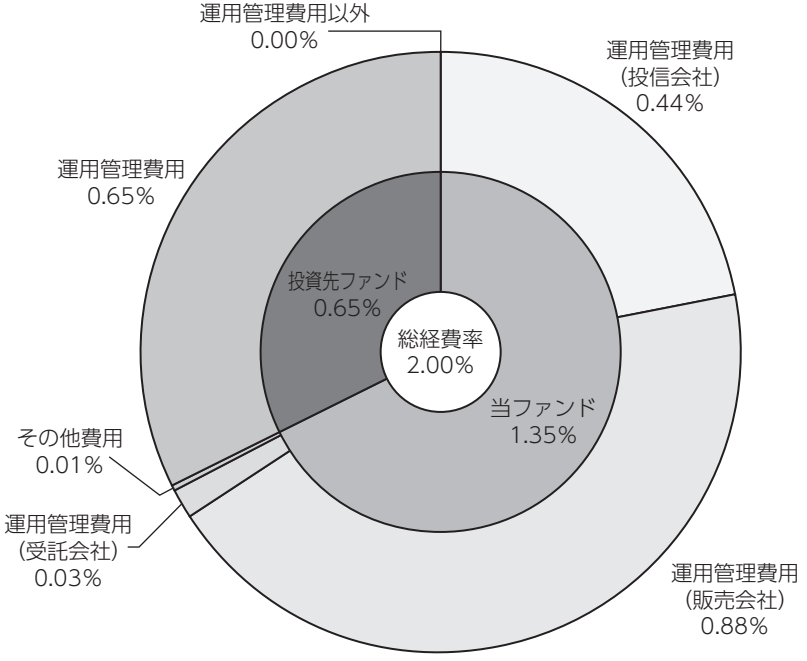
項　　目	第108期～第113期 (2022.1.18～2022.7.19)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	24円	0.676%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は3,539円です。**
（投　信　会　社）	(8)	(0.220)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販　売　会　社）	(16)	(0.440)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受　託　会　社）	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ　の　他　費　用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監　査　費　用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	24	0.679	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.00%です。



総経費率（①＋②＋③）	2.00%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.65%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

（注１）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。
（注４）各比率は、年率換算した値です。
（注５）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注６）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注７）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注８）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2022年1月18日から2022年7月19日まで）

決　算　期	第 108 期 ～ 第 113 期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	298.47649	11,661	258.52547	9,969

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注2）金額は受渡し代金。
（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

（2022年1月18日から2022年7月19日まで）

第 108 期 ～ 第 113 期								
買付				売付				
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (EQUITY ALPHA CLASS)（ケイマン諸島）	105.14595	4,000	38	AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (EQUITY ALPHA CLASS)（ケイマン諸島）	258.52547	9,969	38

（注1）金額は受渡し代金。
（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 113 期 末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券			
（ケイマン諸島）			
AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (EQUITY ALPHA CLASS)	2,752.87837	104,014	97.9

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第107期末	第 113 期 末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	98	98	99

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年7月19日現在

項目	第 113 期 末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	104,014	96.6
ダイワ・マネー・マザーファンド	99	0.1
コール・ローン等、その他	3,565	3.3
投資信託財産総額	107,680	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年2月17日)、(2022年3月17日)、(2022年4月18日)、(2022年5月17日)、(2022年6月17日)、(2022年7月19日)現在

項　　目	第 108 期 末	第 109 期 末	第 110 期 末	第 111 期 末	第 112 期 末	第 113 期 末
(A) 資産	**106,857,750円**	**109,502,967円**	**121,533,767円**	**111,765,404円**	**107,401,675円**	**107,680,279円**
コール・ローン等	3,626,018	3,674,846	1,618,559	2,555,292	3,584,227	3,565,690
投資信託受益証券(評価額)	103,131,899	105,728,288	119,815,375	109,110,279	103,717,615	104,014,756
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	99,833	99,833	99,833	99,833	99,833	99,833
(B) 負債	**1,362,779**	**1,358,508**	**1,393,042**	**1,386,395**	**1,394,589**	**1,395,558**
未払収益分配金	1,243,060	1,247,958	1,251,436	1,254,896	1,259,555	1,264,047
未払解約金	33	−	−	2,880	−	−
未払信託報酬	118,975	109,192	139,411	125,671	131,299	127,014
その他未払費用	711	1,358	2,195	2,948	3,735	4,497
(C) 純資産総額(A−B)	**105,494,971**	**108,144,459**	**120,140,725**	**110,379,009**	**106,007,086**	**106,284,721**
元本	310,765,024	311,989,657	312,859,215	313,724,124	314,888,872	316,011,901
次期繰越損益金	△205,270,053	△203,845,198	△192,718,490	△203,345,115	△208,881,786	△209,727,180
(D) 受益権総口数	**310,765,024口**	**311,989,657口**	**312,859,215口**	**313,724,124口**	**314,888,872口**	**316,011,901口**
1万口当り基準価額(C/D)	**3,395円**	**3,466円**	**3,840円**	**3,518円**	**3,366円**	**3,363円**

＊当作成期首における元本額は309,337,555円、当作成期間（第108期～第113期）中における追加設定元本額は7,383,733円、同解約元本額は709,387円です。
＊第113期末の計算口数当りの純資産額は3,363円です。
＊第113期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は209,727,180円です。

■損益の状況

第108期　自2022年1月18日　至2022年2月17日　　第111期　自2022年4月19日　至2022年5月17日
第109期　自2022年2月18日　至2022年3月17日　　第112期　自2022年5月18日　至2022年6月17日
第110期　自2022年3月18日　至2022年4月18日　　第113期　自2022年6月18日　至2022年7月19日

項　　目	第　108　期	第　109　期	第　110　期	第　111　期	第　112　期	第　113　期
(A) 配当等収益	**1,164,842円**	**1,197,252円**	**1,355,463円**	**1,353,396円**	**1,355,678円**	**1,234,104円**
受取配当金	1,164,859	1,197,261	1,355,463	1,353,398	1,355,693	1,234,137
支払利息	△ 17	△ 9	−	△ 2	△ 15	△ 33
(B) 有価証券売買損益	**△ 420,682**	**2,393,169**	**11,728,052**	**△ 10,065,905**	**△ 4,756,029**	**57,236**
売買益	23	2,393,157	11,731,584	596	2	71,796
売買損	△ 420,705	12	△ 3,532	△ 10,066,501	△ 4,756,031	△ 14,560
(C) 信託報酬等	**△ 119,686**	**△ 109,839**	**△ 140,248**	**△ 126,424**	**△ 132,086**	**△ 127,776**
(D) 当期損益金(A+B+C)	**624,474**	**3,480,582**	**12,943,267**	**△ 8,838,933**	**△ 3,532,437**	**1,163,564**
(E) 前期繰越損益金	**△108,076,740**	**△108,493,837**	**△106,130,051**	**△ 94,355,551**	**△104,420,345**	**△109,189,786**
(F) 追加信託差損益金	**△ 96,574,727**	**△ 97,583,985**	**△ 98,280,270**	**△ 98,895,735**	**△ 99,669,449**	**△100,436,911**
(配当等相当額)	(12,388,105)	(12,239,017)	(12,185,712)	(12,220,003)	(12,266,968)	(12,311,084)
(売買損益相当額)	(△108,962,832)	(△109,823,002)	(△110,465,982)	(△111,115,738)	(△111,936,417)	(△112,747,995)
(G) 合計(D+E+F)	**△204,026,993**	**△202,597,240**	**△191,467,054**	**△202,090,219**	**△207,622,231**	**△208,463,133**
(H) 収益分配金	**△ 1,243,060**	**△ 1,247,958**	**△ 1,251,436**	**△ 1,254,896**	**△ 1,259,555**	**△ 1,264,047**
次期繰越損益金(G+H)	**△205,270,053**	**△203,845,198**	**△192,718,490**	**△203,345,115**	**△208,881,786**	**△209,727,180**
追加信託差損益金	△ 96,772,631	△ 97,671,322	△ 98,280,270	△ 98,895,735	△ 99,669,449	△100,563,462
(配当等相当額)	(12,190,201)	(12,151,680)	(12,185,712)	(12,220,003)	(12,266,968)	(12,184,533)
(売買損益相当額)	(△108,962,832)	(△109,823,002)	(△110,465,982)	(△111,115,738)	(△111,936,417)	(△112,747,995)
分配準備積立金	−	−	89,497	61,495	25,513	−
繰越損益金	△108,497,422	△106,173,876	△ 94,527,717	△104,510,875	△109,237,850	△109,163,718

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期	第 112 期	第 113 期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,045,156円	1,160,621円	1,340,933円	1,226,972円	1,223,592円	1,111,988円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	12,388,105	12,239,017	12,185,712	12,220,003	12,266,968	12,311,084
(d) 分配準備積立金	0	0	0	89,419	61,476	25,508
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	13,433,261	13,399,638	13,526,645	13,536,394	13,552,036	13,448,580
(f) 分配金	1,243,060	1,247,958	1,251,436	1,254,896	1,259,555	1,264,047
(g) 翌期繰越分配対象額(e−f)	12,190,201	12,151,680	12,275,209	12,281,498	12,292,481	12,184,533
(h) 受益権総口数	310,765,024口	311,989,657口	312,859,215口	313,724,124口	314,888,872口	316,011,901口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ						
	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期	第 112 期	第 113 期
1万口当り分配金（税込み）	40円	40円	40円	40円	40円	40円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

通貨αコース

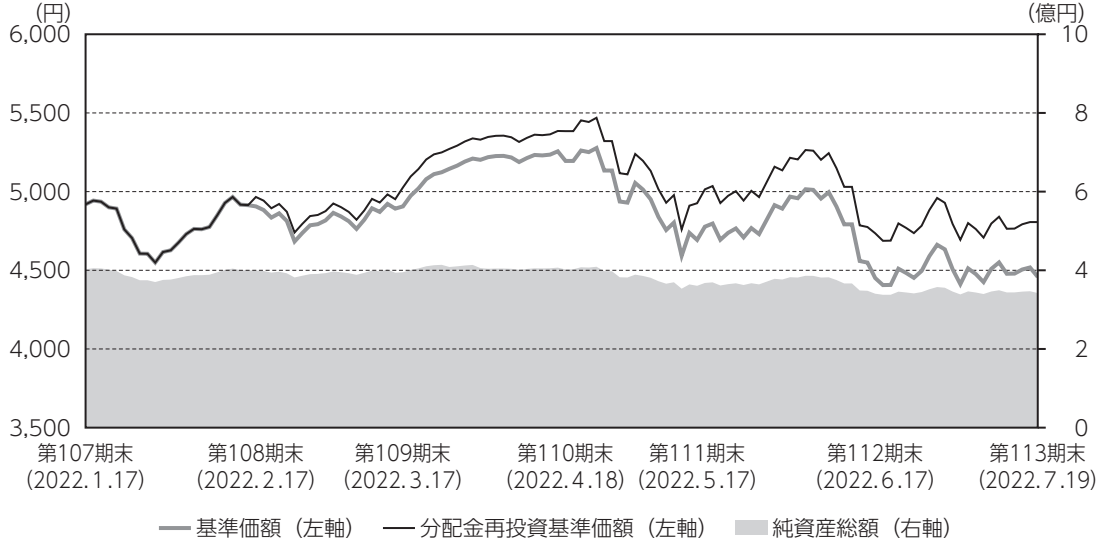
最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P／ASX200指数（円換算）		豪ドル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
84 期末(2020年 2 月17日)	5,918	60	△ 1.1	11,749	△ 1.9	73.73	△ 3.1	−	98.1	899
85 期末(2020年 3 月17日)	3,641	60	△37.5	7,275	△38.1	65.08	△11.7	−	98.0	555
86 期末(2020年 4 月17日)	3,850	60	7.4	8,319	14.4	68.73	5.6	−	98.0	540
87 期末(2020年 5 月18日)	3,843	60	1.4	8,320	0.0	68.88	0.2	−	98.4	541
88 期末(2020年 6 月17日)	4,302	60	13.5	9,807	17.9	73.85	7.2	−	97.8	605
89 期末(2020年 7 月17日)	4,413	60	4.0	10,060	2.6	74.89	1.4	−	98.5	624
90 期末(2020年 8 月17日)	4,537	60	4.2	10,483	4.2	76.57	2.2	−	98.5	641
91 期末(2020年 9 月17日)	4,425	60	△ 1.1	10,171	△ 3.0	76.41	△ 0.2	−	98.4	599
92 期末(2020年10月19日)	4,393	60	0.6	10,327	1.5	74.81	△ 2.1	−	99.1	577
93 期末(2020年11月17日)	4,569	60	5.4	11,084	7.3	76.49	2.2	−	98.6	578
94 期末(2020年12月17日)	4,795	60	6.3	11,695	5.5	78.35	2.4	−	98.4	594
95 期末(2021年 1 月18日)	4,905	60	3.5	11,985	2.5	79.86	1.9	−	98.5	589
96 期末(2021年 2 月17日)	5,046	60	4.1	12,699	6.0	82.15	2.9	−	98.6	564
97 期末(2021年 3 月17日)	5,060	60	1.5	12,879	1.4	84.41	2.8	−	98.5	532
98 期末(2021年 4 月19日)	5,189	60	3.7	13,236	2.8	83.85	△ 0.7	−	98.5	541
99 期末(2021年 5 月17日)	5,200	60	1.4	13,318	0.6	84.96	1.3	−	98.6	519
100期末(2021年 6 月17日)	5,342	60	3.9	13,918	4.5	84.32	△ 0.8	−	98.4	505
101期末(2021年 7 月19日)	5,183	60	△ 1.9	13,302	△ 4.4	81.00	△ 3.9	−	98.3	490
102期末(2021年 8 月17日)	5,218	60	1.8	13,558	1.9	80.01	△ 1.2	−	98.5	493
103期末(2021年 9 月17日)	5,018	60	△ 2.7	13,343	△ 1.6	80.03	0.0	−	98.6	466
104期末(2021年10月18日)	4,998	60	0.8	13,929	4.4	84.66	5.8	−	98.4	459
105期末(2021年11月17日)	4,989	60	1.0	13,875	△ 0.4	83.67	△ 1.2	−	98.3	450
106期末(2021年12月17日)	4,876	60	△ 1.1	13,322	△ 4.0	81.71	△ 2.3	−	98.7	407
107期末(2022年 1 月17日)	4,919	60	2.1	13,624	2.3	82.45	0.9	−	98.3	402
108期末(2022年 2 月17日)	4,906	60	1.0	13,527	△ 0.7	83.09	0.8	−	98.5	399
109期末(2022年 3 月17日)	4,906	60	1.2	13,956	3.2	87.03	4.7	−	98.4	394
110期末(2022年 4 月18日)	5,195	60	7.1	15,727	12.7	93.54	7.5	−	99.0	402
111期末(2022年 5 月17日)	4,693	60	△ 8.5	14,303	△ 9.1	90.23	△ 3.5	−	98.5	360
112期末(2022年 6 月17日)	4,451	60	△ 3.9	13,772	△ 3.7	93.50	3.6	−	98.4	340
113期末(2022年 7 月19日)	4,458	60	1.5	14,070	2.2	94.15	0.7	−	99.5	342

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）S＆P／ASX200指数（円換算）は、S＆P／ASX200指数（豪ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S＆P／ASX200指数（豪ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
（注５）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注６）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注７）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第108期首：4,919円
第113期末：4,458円（既払分配金360円）
騰　落　率：△2.3%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

主にオーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）に投資した結果、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）の下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）については、オーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、豪ドルが対円で上昇（円安）したことはプラス要因となりましたが、株価が下落したことがマイナスに働き、下落しました。通貨オプション取引については、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）　通貨αコース

	年　月　日	基準価額		S&P／ASX200指数（円換算）		豪ドル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
		円	%		%	円	%	%	%
	(期首)2022年1月17日	4,919	−	13,624	−	82.45	−	−	98.3
第108期	1月末	4,616	△6.2	12,616	△ 7.4	80.78	△2.0	−	98.9
	(期末)2022年2月17日	4,966	1.0	13,527	△ 0.7	83.09	0.8	−	98.5
	(期首)2022年2月17日	4,906	−	13,527	−	83.09	−	−	98.5
第109期	2月末	4,737	△3.4	12,972	△ 4.1	82.95	△0.2	−	98.3
	(期末)2022年3月17日	4,966	1.2	13,956	3.2	87.03	4.7	−	98.4
	(期首)2022年3月17日	4,906	−	13,956	−	87.03	−	−	98.4
第110期	3月末	5,210	6.2	15,450	10.7	92.00	5.7	−	98.4
	(期末)2022年4月18日	5,255	7.1	15,727	12.7	93.54	7.5	−	99.0
	(期首)2022年4月18日	5,195	−	15,727	−	93.54	−	−	99.0
第111期	4月末	4,930	△5.1	14,880	△ 5.4	91.70	△2.0	−	98.9
	(期末)2022年5月17日	4,753	△8.5	14,303	△ 9.1	90.23	△3.5	−	98.5
	(期首)2022年5月17日	4,693	−	14,303	−	90.23	−	−	98.5
第112期	5月末	4,914	4.7	14,973	4.7	91.95	1.9	−	98.4
	(期末)2022年6月17日	4,511	△3.9	13,772	△ 3.7	93.50	3.6	−	98.4
	(期首)2022年6月17日	4,451	−	13,772	−	93.50	−	−	98.4
第113期	6月末	4,633	4.1	14,060	2.1	93.90	0.4	−	98.1
	(期末)2022年7月19日	4,518	1.5	14,070	2.2	94.15	0.7	−	99.5

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について　(2022.1.18～2022.7.19)

■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は下落しました。

オーストラリア株式市況は、当作成期首から2022年３月上旬にかけて、主要国で金融政策の正常化観測が広まったことや、ロシアのウクライナ侵攻を受けてリスク回避の動きが強まったことで、下落しました。４月末にかけては、米国での利上げを受けて金融政策運営に対する不透明感が後退したことや、サプライチェーン（供給網）の混乱を背景とした商品価格の上昇が好感され、堅調に推移しました。当作成期末にかけては、世界的なインフレ加速から利上げペースの加速見通しが広まる中、世界経済の減速懸念が意識されたことで、オーストラリア株式市況は下落しました。

■為替相場

豪ドルは対円で上昇しました。

当作成期首から2021年４月末にかけて、ウクライナ侵攻を理由にロシアに対して経済制裁が科される中、資源分野におけるサプライチェーン（供給網）の混乱を受けて商品価格が急騰したことで、資源国通貨である豪ドルは対円で上昇しました。当作成期末にかけては、主要貿易相手国である中国の景気減速懸念から一時下落する場面も見られましたが、ＲＢＡ（オーストラリア準備銀行）が利上げを実施する中、日銀は金融緩和の据え置きを決定したことで、両国間の金融政策の方向性の違いから豪ドル円は堅調に推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態で、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて　(2022.1.18～2022.7.19)

■当ファンド

オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

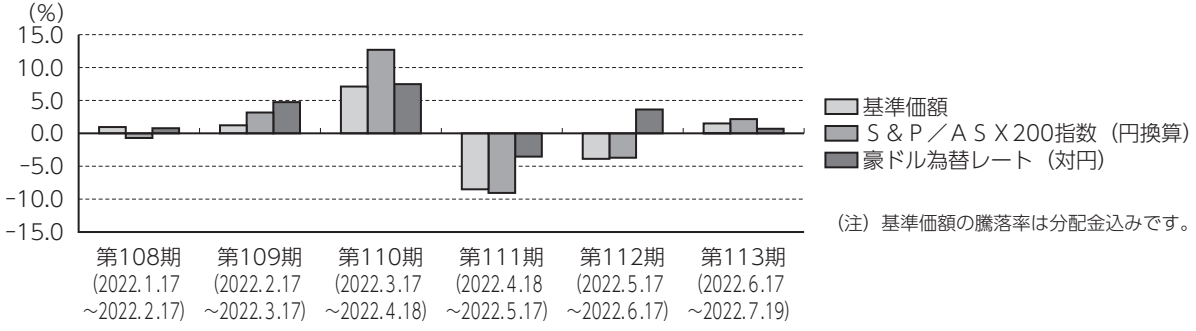
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しています。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目		第108期 2022年1月18日 ～2022年2月17日	第109期 2022年2月18日 ～2022年3月17日	第110期 2022年3月18日 ～2022年4月18日	第111期 2022年4月19日 ～2022年5月17日	第112期 2022年5月18日 ～2022年6月17日	第113期 2022年6月18日 ～2022年7月19日
当期分配金（税込み）（円）		**60**	**60**	**60**	**60**	**60**	**60**
対基準価額比率	(%)	1.21	1.21	1.14	1.26	1.33	1.33
当期の収益	(円)	48	50	59	52	51	47
当期の収益以外	(円)	11	9	0	7	8	12
翌期繰越分配対象額	(円)	754	744	743	736	727	715

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項目	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 48.37円	✓ 50.61円	✓ 59.18円	✓ 52.20円	✓ 51.49円	✓ 47.72円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 765.62	✓ 754.01	✓ 744.63	✓ 744.17	✓ 736.40	✓ 727.89
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)	814.00	804.63	803.82	796.38	787.89	775.62
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)	754.00	744.63	743.82	736.38	727.89	715.62

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態で、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを創出できる強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

１万口当りの費用の明細

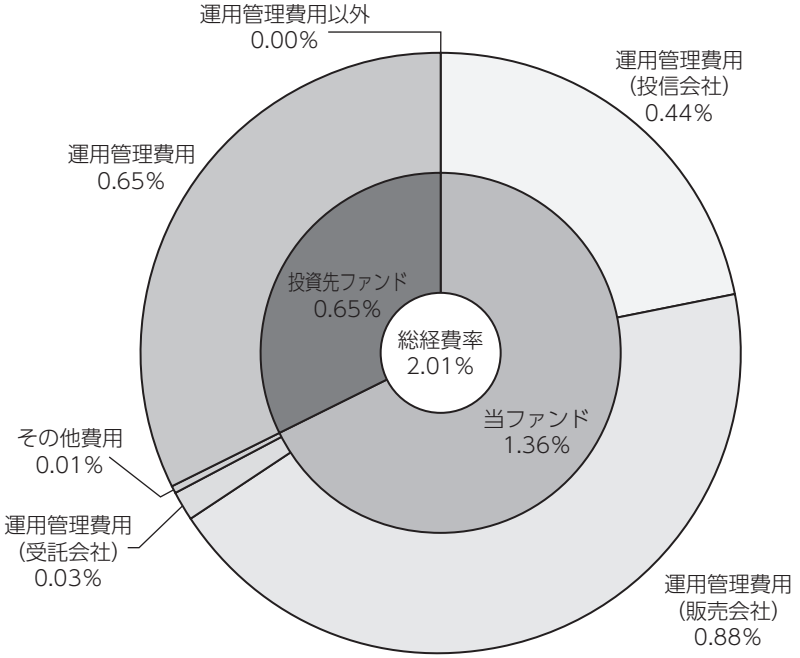
項　　目	第108期～第113期 (2022.1.18～2022.7.19)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	33円	0.677%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は4,845円です。**
（投　信　会　社）	(11)	(0.220)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販　売　会　社）	(21)	(0.441)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受　託　会　社）	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ　の　他　費　用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監　査　費　用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	33	0.680	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.01％です。



総経費率（①＋②＋③）	2.01％
①当ファンドの費用の比率	1.36％
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.65％
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00％

（注１）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。
（注４）各比率は、年率換算した値です。
（注５）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注６）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注７）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注８）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2022年1月18日から2022年7月19日まで）

決　算　期	第 108 期 ～ 第 113 期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	505.37363	26,346	980.52478	51,843

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注2）金額は受渡し代金。
（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

（2022年1月18日から2022年7月19日まで）

第 108 期 ～ 第 113 期								
買付					売付			
銘柄	口数	金額	平均単価		銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円			千口	千円	円
					AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (CURRENCY ALPHA CLASS)（ケイマン諸島）	980.52478	51,843	52

（注1）金額は受渡し代金。
（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 113 期 末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券			
(ケイマン諸島)			
AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (CURRENCY ALPHA CLASS)	7,027.85459	340,387	99.5

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第107期末	第 113 期 末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	98	98	99

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年7月19日現在

項目	第 113 期 末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	340,387	98.0
ダイワ・マネー・マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	6,716	2.0
投資信託財産総額	347,203	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年2月17日)、(2022年3月17日)、(2022年4月18日)、(2022年5月17日)、(2022年6月17日)、(2022年7月19日)現在

項　　目	第 108 期 末	第 109 期 末	第 110 期 末	第 111 期 末	第 112 期 末	第 113 期 末
(A) 資産	**404,731,440円**	**411,556,165円**	**413,170,902円**	**372,350,182円**	**345,506,696円**	**347,203,702円**
コール・ローン等	11,330,810	10,968,720	3,160,607	9,102,947	10,528,162	6,716,760
投資信託受益証券(評価額)	393,300,797	388,523,814	397,946,587	355,171,470	334,878,701	340,387,109
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	99,833	99,833	99,833	99,833	99,833	99,833
未収入金	－	11,963,798	11,963,875	7,975,932	－	－
(B) 負債	**5,335,294**	**16,605,841**	**11,114,898**	**11,774,209**	**5,028,040**	**5,029,907**
未払金	－	5,981,899	5,981,938	3,987,966	－	－
未払収益分配金	4,884,133	4,830,487	4,643,385	4,610,350	4,589,325	4,605,254
未払解約金	－	5,379,437	－	2,751,026	－	－
未払信託報酬	448,446	408,825	481,464	414,246	425,516	408,975
その他未払費用	2,715	5,193	8,111	10,621	13,199	15,678
(C) 純資産総額(A－B)	**399,396,146**	**394,950,324**	**402,056,004**	**360,575,973**	**340,478,656**	**342,173,795**
元本	814,022,199	805,081,175	773,897,523	768,391,781	764,887,526	767,542,425
次期繰越損益金	△414,626,053	△410,130,851	△371,841,519	△407,815,808	△424,408,870	△425,368,630
(D) 受益権総口数	**814,022,199口**	**805,081,175口**	**773,897,523口**	**768,391,781口**	**764,887,526口**	**767,542,425口**
1万口当り基準価額(C/D)	**4,906円**	**4,906円**	**5,195円**	**4,693円**	**4,451円**	**4,458円**

＊当作成期首における元本額は818,689,833円、当作成期間（第108期～第113期）中における追加設定元本額は17,530,928円、同解約元本額は68,678,336円です。
＊第113期末の計算口数当りの純資産額は4,458円です。
＊第113期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は425,368,630円です。

■損益の状況

第108期　自2022年1月18日　至2022年2月17日　　第111期　自2022年4月19日　至2022年5月17日
第109期　自2022年2月18日　至2022年3月17日　　第112期　自2022年5月18日　至2022年6月17日
第110期　自2022年3月18日　至2022年4月18日　　第113期　自2022年6月18日　至2022年7月19日

項　　目	第　108　期	第　109　期	第　110　期	第　111　期	第　112　期	第　113　期
(A) 配当等収益	**4,389,168円**	**4,425,812円**	**4,662,222円**	**4,428,493円**	**4,367,029円**	**3,959,066円**
受取配当金	4,389,248	4,425,863	4,662,235	4,428,526	4,367,140	3,959,198
支払利息	△ 80	△ 51	△ 13	△ 33	△ 111	△ 132
(B) 有価証券売買損益	**△ 58,564**	**766,512**	**22,846,024**	**△ 37,713,423**	**△ 17,810,493**	**1,549,210**
売買益	25,063	888,948	23,703,346	530,418	2	1,549,210
売買損	△ 83,627	△ 122,436	△ 857,322	△ 38,243,841	△ 17,810,495	－
(C) 信託報酬等	**△ 451,161**	**△ 411,303**	**△ 484,382**	**△ 416,756**	**△ 428,094**	**△ 411,454**
(D) 当期損益金(A+B+C)	**3,879,443**	**4,781,021**	**27,023,864**	**△ 33,701,686**	**△ 13,871,558**	**5,096,822**
(E) 前期繰越損益金	**△155,500,868**	**△153,469,537**	**△146,316,084**	**△121,980,086**	**△158,603,926**	**△176,414,419**
(F) 追加信託差損益金	**△258,120,495**	**△256,611,848**	**△247,905,914**	**△247,523,686**	**△247,344,061**	**△249,445,779**
(配当等相当額)	(62,323,495)	(60,704,443)	(57,627,345)	(57,181,732)	(56,326,344)	(55,869,208)
(売買損益相当額)	(△320,443,990)	(△317,316,291)	(△305,533,259)	(△304,705,418)	(△303,670,405)	(△305,314,987)
(G) 合計(D＋E＋F)	**△409,741,920**	**△405,300,364**	**△367,198,134**	**△403,205,458**	**△419,819,545**	**△420,763,376**
(H) 収益分配金	**△ 4,884,133**	**△ 4,830,487**	**△ 4,643,385**	**△ 4,610,350**	**△ 4,589,325**	**△ 4,605,254**
次期繰越損益金(G+H)	**△414,626,053**	**△410,130,851**	**△371,841,519**	**△407,815,808**	**△424,408,870**	**△425,368,630**
追加信託差損益金	△259,066,621	△257,367,118	△247,969,180	△248,122,299	△247,994,451	△250,387,679
(配当等相当額)	(61,377,369)	(59,949,173)	(57,564,079)	(56,583,119)	(55,675,954)	(54,927,308)
(売買損益相当額)	(△320,443,990)	(△317,316,291)	(△305,533,259)	(△304,705,418)	(△303,670,405)	(△305,314,987)
繰越損益金	△155,559,432	△152,763,733	△123,872,339	△159,693,509	△176,414,419	△174,980,951

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第　108　期	第　109　期	第　110　期	第　111　期	第　112　期	第　113　期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,938,007円	4,075,217円	4,580,119円	4,011,737円	3,938,935円	3,663,354円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	62,323,495	60,704,443	57,627,345	57,181,732	56,326,344	55,869,208
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	66,261,502	64,779,660	62,207,464	61,193,469	60,265,279	59,532,562
(f) 分配金	4,884,133	4,830,487	4,643,385	4,610,350	4,589,325	4,605,254
(g) 翌期繰越分配対象額(e−f)	61,377,369	59,949,173	57,564,079	56,583,119	55,675,954	54,927,308
(h) 受益権総口数	814,022,199口	805,081,175口	773,897,523口	768,391,781口	764,887,526口	767,542,425口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ						
	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期	第 112 期	第 113 期
1万口当り分配金（税込み）	60円	60円	60円	60円	60円	60円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

株式＆通貨ツインαコース

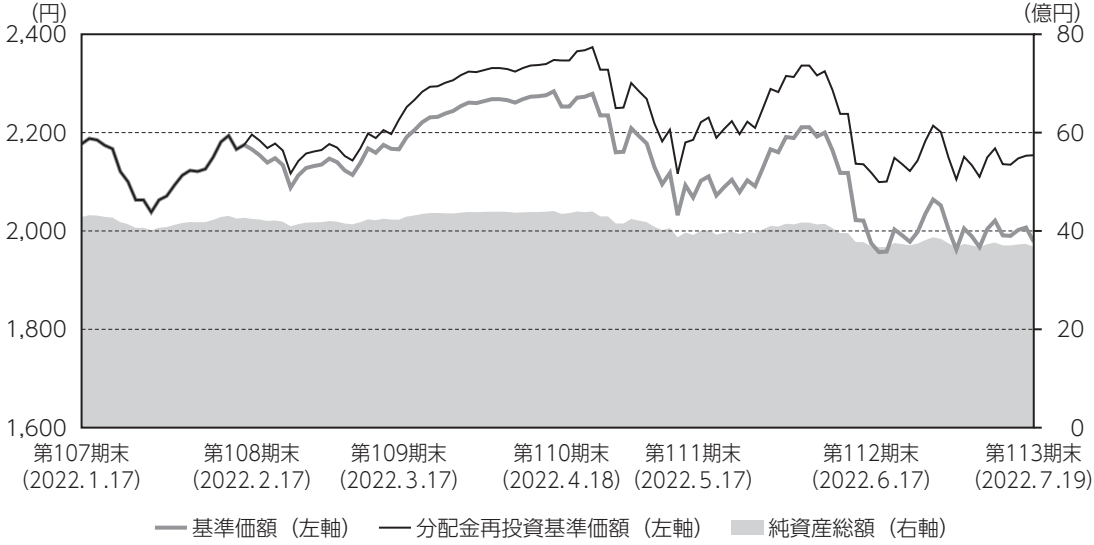
最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P／ASX200指数（円換算）		豪ドル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
84 期末(2020年 2 月17日)	2,878	30	△ 2.0	11,749	△ 1.9	73.73	△ 3.1	−	98.7	8,266
85 期末(2020年 3 月17日)	1,828	30	△35.4	7,275	△38.1	65.08	△11.7	−	97.9	5,155
86 期末(2020年 4 月17日)	1,927	30	7.1	8,319	14.4	68.73	5.6	−	99.5	5,322
87 期末(2020年 5 月18日)	1,933	30	1.9	8,320	0.0	68.88	0.2	−	98.4	5,316
88 期末(2020年 6 月17日)	2,087	30	9.5	9,807	17.9	73.85	7.2	−	98.5	5,659
89 期末(2020年 7 月17日)	2,144	30	4.2	10,060	2.6	74.89	1.4	−	98.6	5,740
90 期末(2020年 8 月17日)	2,192	30	3.6	10,483	4.2	76.57	2.2	−	98.6	5,700
91 期末(2020年 9 月17日)	2,154	30	△ 0.4	10,171	△ 3.0	76.41	△ 0.2	−	98.5	5,556
92 期末(2020年10月19日)	2,139	30	0.7	10,327	1.5	74.81	△ 2.1	−	98.9	5,439
93 期末(2020年11月17日)	2,205	30	4.5	11,084	7.3	76.49	2.2	−	98.7	5,522
94 期末(2020年12月17日)	2,251	30	3.4	11,695	5.5	78.35	2.4	−	100.3	5,477
95 期末(2021年 1 月18日)	2,267	30	2.0	11,985	2.5	79.86	1.9	−	99.7	5,391
96 期末(2021年 2 月17日)	2,318	30	3.6	12,699	6.0	82.15	2.9	−	98.8	5,460
97 期末(2021年 3 月17日)	2,309	30	0.9	12,879	1.4	84.41	2.8	−	98.6	5,380
98 期末(2021年 4 月19日)	2,366	30	3.8	13,236	2.8	83.85	△ 0.7	−	98.6	5,460
99 期末(2021年 5 月17日)	2,362	30	1.1	13,318	0.6	84.96	1.3	−	99.1	5,319
100期末(2021年 6 月17日)	2,403	30	3.0	13,918	4.5	84.32	△ 0.8	−	98.7	5,326
101期末(2021年 7 月19日)	2,332	30	△ 1.7	13,302	△ 4.4	81.00	△ 3.9	−	98.7	5,062
102期末(2021年 8 月17日)	2,321	30	0.8	13,558	1.9	80.01	△ 1.2	−	98.6	4,970
103期末(2021年 9 月17日)	2,243	30	△ 2.1	13,343	△ 1.6	80.03	0.0	−	98.6	4,714
104期末(2021年10月18日)	2,234	30	0.9	13,929	4.4	84.66	5.8	−	98.7	4,599
105期末(2021年11月17日)	2,213	30	0.4	13,875	△ 0.4	83.67	△ 1.2	−	98.8	4,390
106期末(2021年12月17日)	2,168	30	△ 0.7	13,322	△ 4.0	81.71	△ 2.3	−	98.8	4,274
107期末(2022年 1 月17日)	2,177	30	1.8	13,624	2.3	82.45	0.9	−	98.6	4,283
108期末(2022年 2 月17日)	2,166	30	0.9	13,527	△ 0.7	83.09	0.8	−	98.8	4,244
109期末(2022年 3 月17日)	2,166	30	1.4	13,956	3.2	87.03	4.7	−	98.6	4,228
110期末(2022年 4 月18日)	2,253	30	5.4	15,727	12.7	93.54	7.5	−	99.1	4,347
111期末(2022年 5 月17日)	2,068	30	△ 6.9	14,303	△ 9.1	90.23	△ 3.5	−	98.5	3,918
112期末(2022年 6 月17日)	1,975	30	△ 3.0	13,772	△ 3.7	93.50	3.6	−	98.4	3,687
113期末(2022年 7 月19日)	1,978	30	1.7	14,070	2.2	94.15	0.7	−	98.6	3,679

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）S＆P／ASX200指数（円換算）は、S＆P／ASX200指数（豪ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S＆P／ASX200指数（豪ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
（注５）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注６）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注７）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第108期首：2,177円
第113期末：1,978円（既払分配金180円）
騰　落　率：△1.1％（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

主にオーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）に投資した結果、オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）の下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）については、オーストラリア株式への投資と株式および通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、豪ドルが対円で上昇（円安）したことはプラス要因でしたが、株価が下落したことがマイナスに働き、下落しました。オプション取引については、株式オプション取引はプラス要因となりましたが、通貨オプション取引はマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）

ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）　株式＆通貨ツインαコース

	年　月　日	基準価額		S&P／ASX200指数（円換算）		豪ドル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
		円	%		%	円	%	%	%
	(期首)2022年1月17日	2,177	−	13,624	−	82.45	−	−	98.6
第108期	1月末	2,063	△5.2	12,616	△ 7.4	80.78	△2.0	−	98.4
	(期末)2022年2月17日	2,196	0.9	13,527	△ 0.7	83.09	0.8	−	98.8
	(期首)2022年2月17日	2,166	−	13,527	−	83.09	−	−	98.8
第109期	2月末	2,113	△2.4	12,972	△ 4.1	82.95	△0.2	−	98.4
	(期末)2022年3月17日	2,196	1.4	13,956	3.2	87.03	4.7	−	98.6
	(期首)2022年3月17日	2,166	−	13,956	−	87.03	−	−	98.6
第110期	3月末	2,261	4.4	15,450	10.7	92.00	5.7	−	99.4
	(期末)2022年4月18日	2,283	5.4	15,727	12.7	93.54	7.5	−	99.1
	(期首)2022年4月18日	2,253	−	15,727	−	93.54	−	−	99.1
第111期	4月末	2,161	△4.1	14,880	△ 5.4	91.70	△2.0	−	99.5
	(期末)2022年5月17日	2,098	△6.9	14,303	△ 9.1	90.23	△3.5	−	98.5
	(期首)2022年5月17日	2,068	−	14,303	−	90.23	−	−	98.5
第112期	5月末	2,166	4.7	14,973	4.7	91.95	1.9	−	98.7
	(期末)2022年6月17日	2,005	△3.0	13,772	△ 3.7	93.50	3.6	−	98.4
	(期首)2022年6月17日	1,975	−	13,772	−	93.50	−	−	98.4
第113期	6月末	2,052	3.9	14,060	2.1	93.90	0.4	−	98.3
	(期末)2022年7月19日	2,008	1.7	14,070	2.2	94.15	0.7	−	98.6

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について　(2022.1.18～2022.7.19)

■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は下落しました。

オーストラリア株式市況は、当作成期首から2022年３月上旬にかけて、主要国で金融政策の正常化観測が広まったことや、ロシアのウクライナ侵攻を受けてリスク回避の動きが強まったことで、下落しました。４月末にかけては、米国での利上げを受けて金融政策運営に対する不透明感が後退したことや、サプライチェーン（供給網）の混乱を背景とした商品価格の上昇が好感され、堅調に推移しました。当作成期末にかけては、世界的なインフレ加速から利上げペースの加速見通しが広まる中、世界経済の減速懸念が意識されたことで、オーストラリア株式市況は下落しました。

■為替相場

豪ドルは対円で上昇しました。

当作成期首から2021年４月末にかけて、ウクライナ侵攻を理由にロシアに対して経済制裁が科される中、資源分野におけるサプライチェーン（供給網）の混乱を受けて商品価格が急騰したことで、資源国通貨である豪ドルは対円で上昇しました。当作成期末にかけては、主要貿易相手国である中国の景気減速懸念から一時下落する場面も見られましたが、ＲＢＡ（オーストラリア準備銀行）が利上げを実施する中、日銀は金融緩和の据え置きを決定したことで、両国間の金融政策の方向性の違いから豪ドル円は堅調に推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態で、オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせた株式カバードコール戦略に加えて、通貨オプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて　(2022.1.18～2022.7.19)

■当ファンド

オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせた株式カバードコール戦略に加えて、通貨オプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

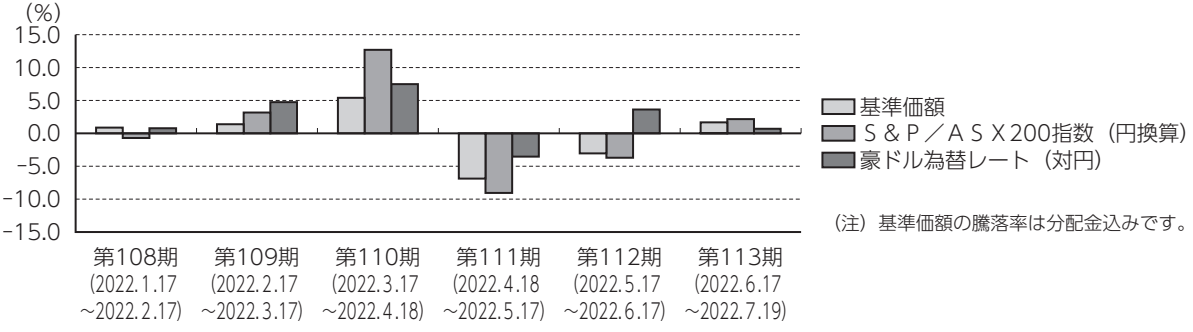
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しています。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
	2022年1月18日～2022年2月17日	2022年2月18日～2022年3月17日	2022年3月18日～2022年4月18日	2022年4月19日～2022年5月17日	2022年5月18日～2022年6月17日	2022年6月18日～2022年7月19日
当期分配金（税込み）（円）	**30**	**30**	**30**	**30**	**30**	**30**
対基準価額比率 (%)	1.37	1.37	1.31	1.43	1.50	1.49
当期の収益 (円)	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	351	356	364	370	376	378

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項目	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 33.62円	✓ 34.47円	✓ 38.51円	✓ 35.75円	✓ 35.50円	✓ 32.24円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	75.55	76.71	77.86	78.83	80.28	81.91
(d) 分配準備積立金	272.59	275.06	278.40	285.94	290.26	294.14
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)	381.77	386.25	394.78	400.54	406.05	408.30
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)	351.77	356.25	364.78	370.54	376.05	378.30

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態で、オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせた株式カバードコール戦略に加えて、通貨オプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを創出できる強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

１万口当りの費用の明細

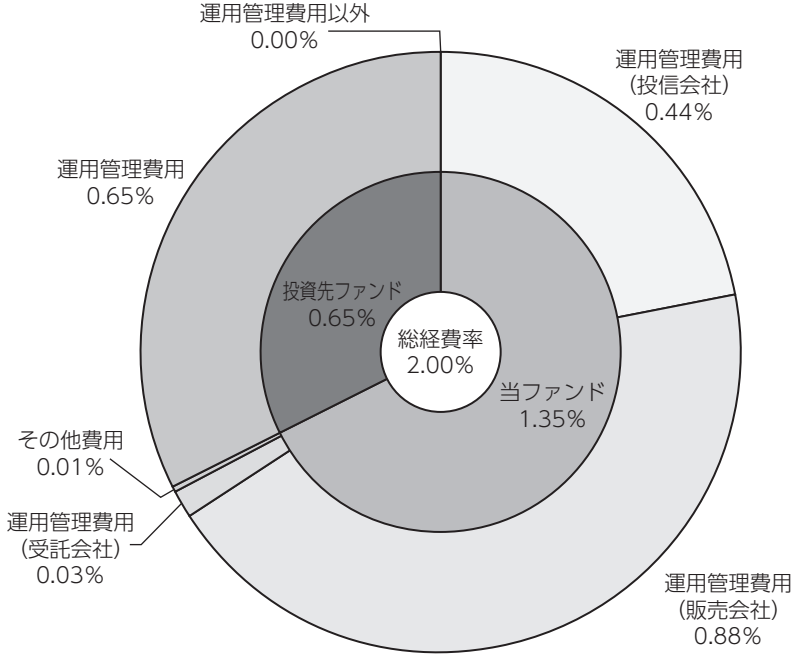
項　　目	第108期～第113期 (2022.1.18～2022.7.19)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	14円	0.674%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は2,136円です。**
（投　信　会　社）	(5)	(0.220)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販　売　会　社）	(9)	(0.440)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受　託　会　社）	(0)	(0.015)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ　の　他　費　用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監　査　費　用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	14	0.677	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.00%です。



総経費率（①＋②＋③）	2.00%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.65%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

（注１）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。
（注４）各比率は、年率換算した値です。
（注５）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注６）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注７）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注８）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2022年1月18日から2022年7月19日まで）

決　算　期	第 108 期 ～ 第 113 期			
	買　　付		売　　付	
	口　数	金　額	口　数	金　額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	24,205.90317	497,555	32,653.12216	664,982

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注2）金額は受渡し代金。
（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

（2022年1月18日から2022年7月19日まで）

第 108 期 ～ 第 113 期								
買　　付				売　　付				
銘　柄	口　数	金　額	平均単価	銘　柄	口　数	金　額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (TWIN ALPHA CLASS)（ケイマン諸島）	3,327.82077	69,000	20	AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (TWIN ALPHA CLASS)（ケイマン諸島）	32,653.12216	664,982	20

（注1）金額は受渡し代金。
（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 113 期 末		
	口　数	評価額	比　率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券			
(ケイマン諸島)			
AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (TWIN ALPHA CLASS)	190,650.05318	3,626,354	98.6

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種　類	第107期末	第 113 期 末	
	口　数	口　数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	982	982	998

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年7月19日現在

項　目	第 113 期 末	
	評価額	比　率
	千円	%
投資信託受益証券	3,626,354	96.9
ダイワ・マネー・マザーファンド	998	0.0
コール・ローン等、その他	115,810	3.1
投資信託財産総額	3,743,163	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年2月17日)、(2022年3月17日)、(2022年4月18日)、(2022年5月17日)、(2022年6月17日)、(2022年7月19日)現在

項　　目	第 108 期 末	第 109 期 末	第 110 期 末	第 111 期 末	第 112 期 末	第 113 期 末
(A) 資産	**4,316,208,878円**	**4,293,397,110円**	**4,461,464,731円**	**4,064,898,277円**	**3,749,463,136円**	**3,743,163,163円**
コール・ローン等	123,300,908	122,617,044	51,984,912	122,435,767	120,067,179	115,810,172
投資信託受益証券(評価額)	4,191,909,640	4,169,781,736	4,306,791,877	3,861,705,556	3,628,397,627	3,626,354,661
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	998,330	998,330	998,330	998,330	998,330	998,330
未収入金	−	−	101,689,612	79,758,624	−	−
(B) 負債	**71,496,029**	**64,935,822**	**113,984,020**	**145,970,399**	**62,384,766**	**63,770,904**
未払金	−	−	50,844,806	39,879,312	−	−
未払収益分配金	58,789,649	58,578,443	57,877,947	56,842,152	55,997,427	55,800,758
未払解約金	7,857,448	1,950,402	−	44,628,630	1,629,953	3,376,041
未払信託報酬	4,819,554	4,351,082	5,173,840	4,505,420	4,614,377	4,424,133
その他未払費用	29,378	55,895	87,427	114,885	143,009	169,972
(C) 純資産総額(A−B)	**4,244,712,849**	**4,228,461,288**	**4,347,480,711**	**3,918,927,878**	**3,687,078,370**	**3,679,392,259**
元本	19,596,549,724	19,526,147,782	19,292,649,198	18,947,384,115	18,665,809,317	18,600,252,994
次期繰越損益金	△15,351,836,875	△15,297,686,494	△14,945,168,487	△15,028,456,237	△14,978,730,947	△14,920,860,735
(D) 受益権総口数	**19,596,549,724口**	**19,526,147,782口**	**19,292,649,198口**	**18,947,384,115口**	**18,665,809,317口**	**18,600,252,994口**
1万口当り基準価額(C／D)	**2,166円**	**2,166円**	**2,253円**	**2,068円**	**1,975円**	**1,978円**

＊当作成期首における元本額は19,677,794,456円、当作成期間（第108期～第113期）中における追加設定元本額は516,335,734円、同解約元本額は1,593,877,196円です。
＊第113期末の計算口数当りの純資産額は1,978円です。
＊第113期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は14,920,860,735円です。

■損益の状況

第108期　自2022年1月18日　至2022年2月17日　　第111期　自2022年4月19日　至2022年5月17日
第109期　自2022年2月18日　至2022年3月17日　　第112期　自2022年5月18日　至2022年6月17日
第110期　自2022年3月18日　至2022年4月18日　　第113期　自2022年6月18日　至2022年7月19日

項　　目	第　108　期	第　109　期	第　110　期	第　111　期	第　112　期	第　113　期
(A) 配当等収益	**70,743,048円**	**71,702,930円**	**76,005,887円**	**72,280,684円**	**70,911,487円**	**64,359,517円**
受取配当金	70,744,263	71,703,735	76,006,157	72,281,186	70,912,672	64,361,102
受取利息	−	1	−	−	1	14
支払利息	△ 1,215	△ 806	△ 270	△ 502	△ 1,186	△ 1,599
(B) 有価証券売買損益	**△ 27,833,614**	**△ 9,738,230**	**156,547,347**	**△ 361,636,745**	**△ 183,941,490**	**1,124,756**
売買益	716,846	629,401	158,426,272	5,008,843	1,406,342	1,795,484
売買損	△ 28,550,460	△ 10,367,631	△ 1,878,925	△ 366,645,588	△ 185,347,832	△ 670,728
(C) 信託報酬等	**△ 4,848,932**	**△ 4,377,599**	**△ 5,205,372**	**△ 4,532,878**	**△ 4,642,501**	**△ 4,451,096**
(D) 当期損益金(A+B+C)	**38,060,502**	**57,587,101**	**227,347,862**	**△ 293,888,939**	**△ 117,672,504**	**61,033,177**
(E) 前期繰越損益金	**△ 8,497,428,325**	**△ 8,451,948,250**	**△ 8,317,945,757**	**△ 7,975,422,535**	**△ 8,161,960,825**	**△ 8,260,772,693**
(F) 追加信託差損益金	**△ 6,833,679,403**	**△ 6,844,746,902**	**△ 6,796,692,645**	**△ 6,702,302,611**	**△ 6,643,100,191**	**△ 6,665,320,461**
(配当等相当額)	(148,054,029)	(149,790,315)	(150,217,042)	(149,380,833)	(149,862,668)	(152,360,758)
(売買損益相当額)	(△ 6,981,733,432)	(△ 6,994,537,217)	(△ 6,946,909,687)	(△ 6,851,683,444)	(△ 6,792,962,859)	(△ 6,817,681,219)
(G) 合計(D+E+F)	**△15,293,047,226**	**△15,239,108,051**	**△14,887,290,540**	**△14,971,614,085**	**△14,922,733,520**	**△14,865,059,977**
(H) 収益分配金	**△ 58,789,649**	**△ 58,578,443**	**△ 57,877,947**	**△ 56,842,152**	**△ 55,997,427**	**△ 55,800,758**
次期繰越損益金(G+H)	**△15,351,836,875**	**△15,297,686,494**	**△14,945,168,487**	**△15,028,456,237**	**△14,978,730,947**	**△14,920,860,735**
追加信託差損益金	△ 6,833,679,403	△ 6,844,746,902	△ 6,796,692,645	△ 6,702,302,611	△ 6,643,100,191	△ 6,665,320,461
(配当等相当額)	(148,054,029)	(149,790,315)	(150,217,042)	(149,380,833)	(149,862,668)	(152,360,758)
(売買損益相当額)	(△ 6,981,733,432)	(△ 6,994,537,217)	(△ 6,946,909,687)	(△ 6,851,683,444)	(△ 6,792,962,859)	(△ 6,817,681,219)
分配準備積立金	541,299,605	545,839,121	553,548,867	552,698,517	552,070,774	551,297,114
繰越損益金	△ 9,059,457,077	△ 8,998,778,713	△ 8,702,024,709	△ 8,878,852,143	△ 8,887,701,530	△ 8,806,837,388

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期	第 112 期	第 113 期
(a) 経費控除後の配当等収益	65,894,104円	67,325,326円	74,304,770円	67,747,800円	66,268,970円	59,984,965円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	148,054,029	149,790,315	150,217,042	149,380,833	149,862,668	152,360,758
(d) 分配準備積立金	534,195,150	537,092,238	537,122,044	541,792,869	541,799,231	547,112,907
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	748,143,283	754,207,879	761,643,856	758,921,502	757,930,869	759,458,630
(f) 分配金	58,789,649	58,578,443	57,877,947	56,842,152	55,997,427	55,800,758
(g) 翌期繰越分配対象額(e−f)	689,353,634	695,629,436	703,765,909	702,079,350	701,933,442	703,657,872
(h) 受益権総口数	19,596,549,724口	19,526,147,782口	19,292,649,198口	18,947,384,115口	18,665,809,317口	18,600,252,994口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ						
	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期	第 112 期	第 113 期
1万口当り分配金（税込み）	30円	30円	30円	30円	30円	30円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

オーストラリア高配当株α・ファンド
（株式αクラス／通貨αクラス／ツインαクラス）

当ファンド（ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）　株式αコース／通貨αコース／株式＆通貨ツインαコース）はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス／通貨αクラス／ツインαクラス）」に投資しております。以下の財務諸表は、直近で入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、大和アセットマネジメントが編集および一部翻訳したものです。

貸借対照表

2021年12月31日

（円）

資産		
担保付スワップ投資評価額（簿価：¥10,191,745,471円）		4,896,585,171
未収利息		2,920,942
資産合計		**4,899,506,113**
負債		
未払代行会社報酬		2,920,942
負債合計		**2,920,942**
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産		**4,896,585,171**
帰属先別純資産	ツインαクラス受益証券	4,370,043,293
	通貨αクラス受益証券	418,543,211
	株式αクラス受益証券	107,998,667
発行済受益証券数	ツインαクラス受益証券	199,531,212
	通貨αクラス受益証券	7,715,993
	株式αクラス受益証券	2,732,666
受益証券一口当り純資産	ツインαクラス受益証券	21.902
	通貨αクラス受益証券	54.244
	株式αクラス受益証券	39.521

包括利益計算書

2021年12月31日終了年度

	(円)
収入	
適正価値による損益通算後の金融商品純損益	
手数料収入	1,181,140,635
担保付スワップ投資純損益	(230,296,656)
	950,843,979
収入合計	**950,843,979**
営業費用	36,863,526
営業費用合計	**36,863,526**
金融費用控除前営業損益	**913,980,453**
償還可能受益証券の保有者への分配金	**(1,144,277,109)**
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産変動額（分配金支払後）	**(230,296,656)**

当トラストが保有していた担保付スワップ投資

2021年12月31日時点

	簿価 (円)	評価額 (円)
ツインαクラス受益証券	9,497,864,735	4,370,043,293
通貨αクラス受益証券	517,742,553	418,543,211
株式αクラス受益証券	176,138,183	107,998,667
	10,191,745,471	**4,896,585,171**

＜補足情報＞

当ファンド（ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）　株式αコース／通貨αコース／株式＆通貨ツインαコース）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2021年12月９日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第113期の決算日（2022年７月19日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2022年１月18日～2022年７月19日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2022年７月19日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書　第17期（決算日　2021年12月９日）

（作成対象期間　2020年12月10日～2021年12月９日）

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

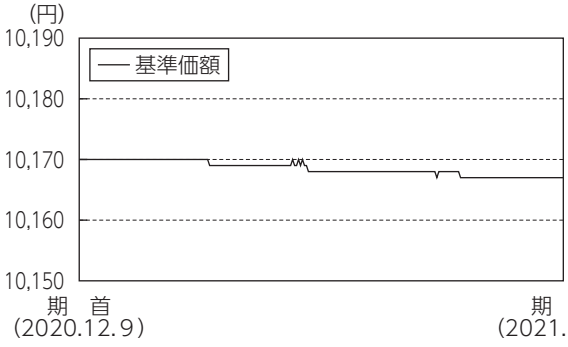
★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運　用　方　針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
	円	%	%
(期首)2020年12月9日	10,170	−	−
12月末	10,170	0.0	−
2021年1月末	10,170	0.0	−
2月末	10,170	0.0	−
3月末	10,169	△0.0	−
4月末	10,169	△0.0	−
5月末	10,169	△0.0	−
6月末	10,168	△0.0	−
7月末	10,168	△0.0	−
8月末	10,168	△0.0	−
9月末	10,167	△0.0	−
10月末	10,167	△0.0	−
11月末	10,167	△0.0	−
(期末)2021年12月9日	10,167	△0.0	−

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,170円　期末：10,167円　騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	0
(その他)	(0)
合計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

その他有価証券

(2020年12月10日から2021年12月9日まで)

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国内短期社債等	110,997,998	111,997,992 (−)

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) (　)内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2021年12月９日現在

項目	当期末 評価額	当期末 比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	6,782,301	100.0
投資信託財産総額	6,782,301	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年12月９日現在

項目	当期末
(A) 資産	**6,782,301,285円**
コール・ローン等	6,782,301,285
(B) 負債	**－**
(C) 純資産総額(A－B)	**6,782,301,285**
元本	6,671,046,264
次期繰越損益金	111,255,021
(D) 受益権総口数	**6,671,046,264口**
１万口当り基準価額(C／D)	**10,167円**

＊期首における元本額は66,337,383,629円、当作成期間中における追加設定元本額は24,638,372,125円、同解約元本額は84,304,709,490円です。

＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ日経225－シフト11－ 2019－03（適格機関投資家専用）	531,632,690円
ゴールド・ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）	1,965,311,641円
ターゲット・リターン（コスト控除後３％）資金拠出用ファンド（適格機関投資家専用）	129,833円
ターゲット・リターン（コスト控除後５％）資金拠出用ファンド（適格機関投資家専用）	160,914円
ダイワ・グローバルＩｏＴ関連株ファンド －ＡＩ新時代－（為替ヘッジあり）	977,694円
ダイワ・グローバルＩｏＴ関連株ファンド －ＡＩ新時代－（為替ヘッジなし）	977,694円
ダイワＦＥグローバル・バリュー（為替ヘッジあり）	9,608円
ダイワＦＥグローバル・バリュー（為替ヘッジなし）	9,608円
NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり）	49,107円
NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし）	49,107円
ダイワ／“ＲＩＣＩ®”コモディティ・ファンド	2,074,249円
ＵＳ債券ＮＢ戦略ファンド（為替ヘッジあり／年１回決算型）	1,676円
ＵＳ債券ＮＢ戦略ファンド（為替ヘッジなし／年１回決算型）	1,330円
NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）	180,729円
NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）	737,649円
NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）	95,276円
NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）	337,885円
世界セレクティブ株式オープン	983円
世界セレクティブ株式オープン（年２回決算型）	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／毎月分配型）	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／毎月分配型）	983円
ＤＣダイワ・マネー・ポートフォリオ	4,082,297,237円
ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型） －トリプルリターンズ－ 日本円・コース（毎月分配型）	132,757円
ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型） －トリプルリターンズ－ 豪ドル・コース（毎月分配型）	52,987円
ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型） －トリプルリターンズ－ ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）	467,315円
ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型） －トリプルリターンズ－ 米ドル・コース（毎月分配型）	12,784円
ダイワ／フィデリティ北米株式ファンド －パラダイムシフト－	1,988,495円
ダイワＦＥグローバル・バリュー株ファンド（ダイワＳＭＡ専用）	3,666円
ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）	155,317円
ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）	38,024円
ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）米ドル・コース（毎月分配型）	4,380円
ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）豪ドル・コース（毎月分配型）	22,592円
ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ	80,587,771円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）	33,689円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）	96,254円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド －インフラ革命－（為替ヘッジあり）	5,385円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド －インフラ革命－（為替ヘッジなし）	11,530円
ダイワ米国ＭＬＰファンド（毎月分配型）米ドルコース	9,817円
ダイワ米国ＭＬＰファンド（毎月分配型）日本円コース	6,964円
ダイワ米国ＭＬＰファンド（毎月分配型）通貨αコース	9,479円
ダイワ英国高配当株ツインα（毎月分配型）	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	979,761円
ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）南アフリカ・ランド・コース（毎月分配型）	1,097円
ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）トルコ・リラ・コース（毎月分配型）	2,690円
ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）通貨セレクト・コース（毎月分配型）	1,350円
ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型） 株式αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型） 通貨αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型） 株式＆通貨ツインαコース	982,029円
ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型） －トリプルリターンズ－ 通貨セレクト・コース（毎月分配型）	9,652円

＊当期末の計算口数当りの純資産額は10,167円です。

■損益の状況

当期 自2020年12月10日 至2021年12月９日

項目	当期
(A) 配当等収益	△ **6,353,364円**
受取利息	34,938
支払利息	△ 6,388,302
(B) その他費用	△ **30,929**
(C) 当期損益金(A＋B)	△ **6,384,293**
(D) 前期繰越損益金	**1,128,566,954**
(E) 解約差損益金	**△1,428,973,017**
(F) 追加信託差損益金	**418,045,377**
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	**111,255,021**
次期繰越損益金(G)	**111,255,021**

（注１）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。